

坂の上通信

令和四年七月十九日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

文化祭 二日開催

コロナ禍に伴う制限の中で

今年も文化祭が無事挙行されたが、今年度は食品パザールが禁止となるなど、コロナ禍による制限が強い中での開催となった。

今年度は昨年と違い、2日間にわたって文化祭を開催した。1日目は1・2・3組は午前、4・5・6組は午後に行われ、講堂でステージ発表が行われた。オーブニングは書道部の力強いパフォーマンスで始まり、放送部による



サングラスをかけ「学園天国」を演奏する吹奏楽部

る、先生からのナソトレや、新しく着任した先生の趣味や特技の発表は大いに盛り上がった。吹奏楽部は「魔女の宅急便コレクション」や「J BEST 21」などの演奏を披露し、演劇部は「白バラ女学院」を上演した。昨年と同じく、間隔を空けての講堂発表となったが、生徒の笑顔が絶えない発表となった。

学校の「顔」に インタビュ―



今回は地歴科・水原先生にお話を伺いました。

「先生になろうと思うたきっかけは？」

「世界史の授業を受けて面白いなと思い、面白さを伝える」と思っています。

「好きな魚はハニグラちゃんです。」

「今まで貰った本命パレンタインチョコは？」

「美高生へメッセージ」

「目標とか夢を持って諦めずに粘り強く志を高く頑張ってください。悔いが残らないように。」

「美高生へメッセージ」

「美高生へメッセージ」

文化部 個性あふれる展示

今年度の文化祭の2日目は、文化部による作品展示も行われた。美術部の展示では、広島県高校総合体育祭のポスターに選ばれた作品を始めとした、絵画の展示や缶バッジなどのバザーが行われた。

他にも、茶道部ではお手前の披露、華道部では部員が活けた花の展示、新聞文化部では作成した新聞の展示、科学部では石と地層と亀の展示、コンピュータ部ではゲームと映像の展示やシール作り、3部では当校に来られている外国の先生との対話をまとめたもの



美術部の展示

部活動紹介

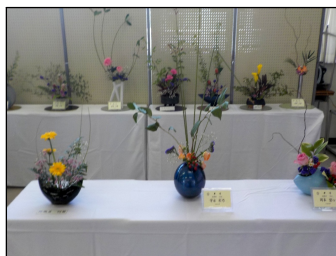
今回紹介するのは書道部である。

部員は現在、3年生7人、1・2年生16人で活動しています。

書道部は今年も、全国高等学校総合文化祭の広島大会で最優秀賞を受賞して全国大会へ出場が決まり、2年連続で全国大会への出場

では部員が活けた花の展示、新聞文化部では作成した新聞の展示、科学部では石と地層と亀の展示、コンピュータ部ではゲームと映像の展示やシール作り、3部では当校に来られている外国の先生との対話をまとめたもの

の展示と、各部活の特色を活かした展示を行った。また、あすなる会では活動内容をまとめたポスターと共に、ポウリングやスゴロクなど来た人を楽しませるゲームも行い、それぞれの部活の個性が色濃く出た発表となった。



華道部の展示

クラス発表 団結の末に

昨年度の文化祭では、時間配分が難しい、展示を回る時間が無いと

2日に分けての実施となり、2日目はクラス発表と文化部の展示が中心となっており、様々な制限や決まりがある中、各クラスの個性があふれる様々な出し物を行った。

今年度は第3学年の食品パザールが中止となり、学年でテーマを「世界」に決め、各クラス様々な国の文化をモチーフにした出し物が行われた。また、感染拡大防止の観点から第3学年のみ家族1名の一般公開が行われ、高

校生活最後の文化祭を楽しく迎えた。

1・2年生とも、教室の中でのメリーゴラウンドや写真撮影スポット、気配切りなどたくさんの方が目を引くような出し物が催され、どのクラスも行列が絶えず賑わっていた。中には、文化祭前日まで学級閉鎖を余儀



思い思いに各クラスの出し物を楽しむ生徒ら

美・鈴・鈴・鈴

今年も賑やかに幕を閉じた美高祭。

▼それぞれのクラスが日々準備に明け暮れ、クラスの色が濃く映る興味深い出し物を創りあげた。そんな文化祭は、何のために行われるのか。いつどこで始まったのだろうか。

▼日本最古の文化祭は一九二一年に東京府立第五中学校で行われた「創作展覧会」だ。生徒の創作意欲を高めるため行ったのだそう。

▼文化科学省の学習指導要項によると学校行事で期待されるのは「人間関係を上手に形成すること」「集団生活で、所属しているという実感や連帯を深めること」「公共の精神を培ってより良い学校生活を築くこと」以上の三点だ。まさしく文化祭が相応しいのではないか。▼美高祭は私たちの青春の一ページとなる。その中で知らず知らずのうちに能力が培われているのだ。(石井咲衣)

急募

本号をもって三年生は引退となりました。現在一・二年生の部員はいません。「小説が書きたい」「文章力をつけたい」動機は何でもOK!新入部員を随時募集しています。相談は国語科・小畑まで!